

# 第2次奥州市生涯学習基本計画

(後期計画)

令和4年3月

奥州市協働まちづくり部 生涯学習スポーツ課

# 目 次

ページ

はじめに	.....	1
第1章 計画の概要		
1 計画策定の趣旨	.....	1
2 計画の位置づけ	.....	2
3 計画の期間	.....	2
第2章 生涯学習を取り巻く環境		
1 生涯学習を取り巻く社会状況	.....	3
2 生涯学習をめぐる国及び県の動向	.....	4
第3章 奥州市の現状		
1 奥州市の社会状況	.....	6
2 奥州市の生涯学習の現状	.....	7
3 市民の生涯学習の現状	.....	9
第4章 これまでの取り組みと課題、指標の達成状況		11
第5章 計画の基本目標と方向性		
1 基本目標	.....	16
2 基本方針	.....	16
3 施策の柱	.....	17
4 施策の体系	.....	18
第6章 施策の展開		
1 生涯にわたる学習活動への支援	.....	19
2 本に親しむ活動の推進	.....	25
3 芸術文化の推進	.....	27

## はじめに

### 生涯学習とは

「生涯学習」とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。また、人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択し学ぶことができ、その成果が適切に評価される社会を指すものとして「生涯学習社会」という言葉も用いられます。

また、教育基本法第3条においては、生涯学習の理念として、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と規定されております。

文部科学省「令和元年版 文部科学白書」より引用

\*学校教育…「学校教育法」に基づいた学校の教育課程として行われる教育活動

\*社会教育…学校教育を除き、主に青少年や成人に対して行われる組織的な教育活動

## 第1章 計画の概要

### 1 計画策定の趣旨

近年、少子・高齢化や情報化の急速な進展、地域社会の変容、経済のグローバル化により雇用環境の変化など、社会構造の急激な変化に伴い、市民の学習ニーズが多様化・高度化するとともに、地域課題も複雑さを増しています。

こうした状況の中で、市民一人ひとりが人生の各段階で多様な目的を持った学びをえられるよう、生涯を通じた学習機会の提供や家庭・地域の教育力の強化などの「生涯学習社会」の実現に向けた取り組みが必要であることから、奥州市では、生涯学習を総合的に推進するための指針となる計画を次のように策定してきました。

計画期間	計画名称	目標
平成21年度 ～平成28年度	奥州市生涯学習基本計画	学びの場をひろげ・生かす生涯学習環境の充実
平成25年度 ～平成28年度	奥州市生涯学習基本計画 後期計画	生きがいあふれる生涯学習・文化活動の充実
平成29年度 ～令和8年度	第2次奥州市生涯学習基本計画	豊かな生き方を築く生涯学習・文化活動の推進

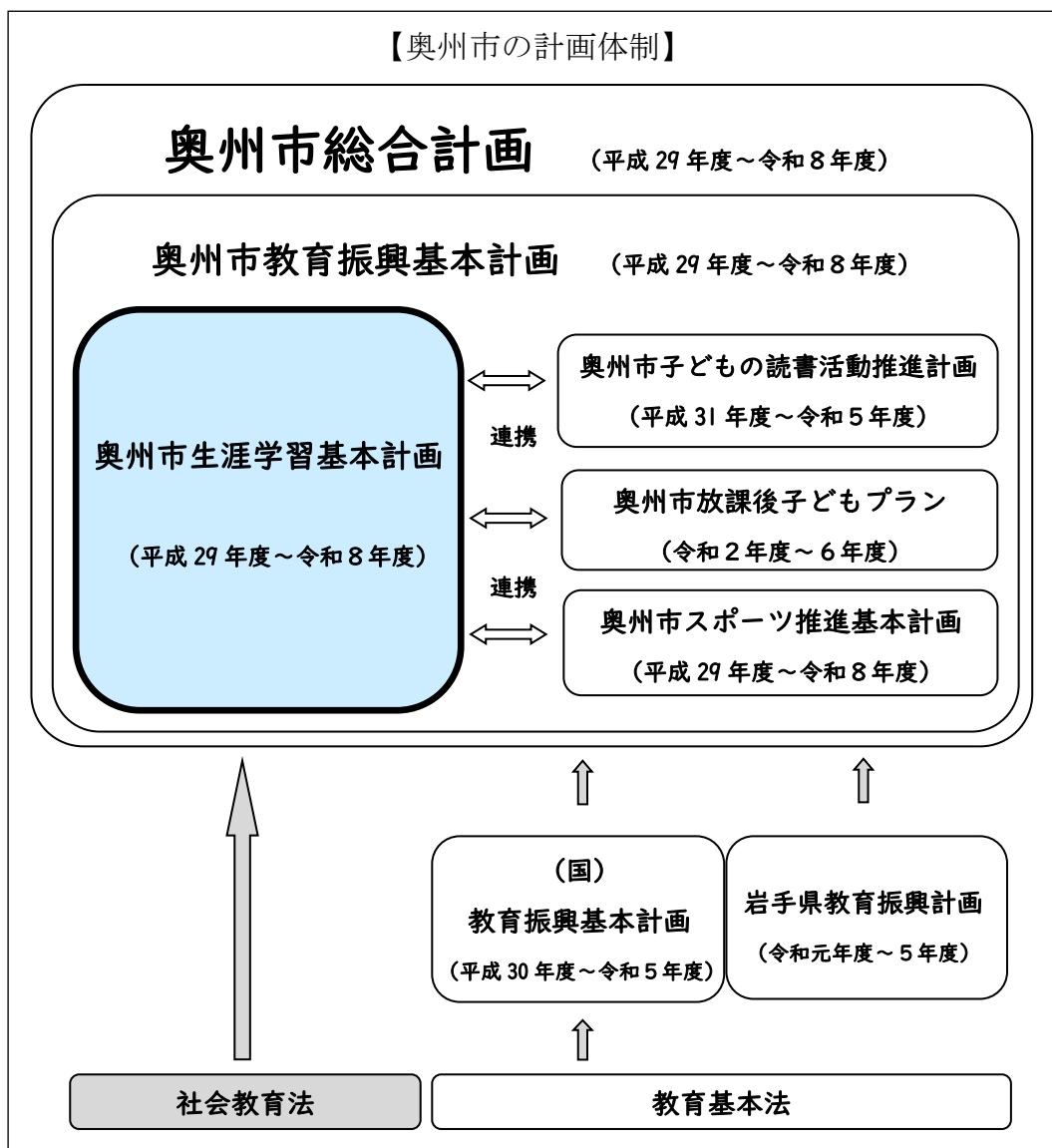
## 2 計画の位置付け

本計画は、奥州市民憲章の理念を具現化する計画として市の最上位計画である第2次奥州市総合計画、市の教育に関する部門別計画である第2期奥州市教育振興基本計画の下に、国や県などの生涯学習に対する考え方を踏まえ、市民の学びの視点に基づいた取り組みを推進する指針となる基本的な計画とするものです。

第2次奥州市総合計画及び第2期奥州市教育振興基本計画を実施していくうえで、他の個別計画の中でも、特に、奥州市子どもの読書活動推進計画(平成31年度～令和5年度)や奥州市放課後子どもプラン(令和2年度～6年度)、奥州市スポーツ推進基本計画(平成29年度～令和8年度)など、生涯学習に関連する計画との連携と役割分担を十分に図るものとします。

なお、生涯学習が扱う分野は非常に幅広い分野に関わることから、上記計画の他にも本市の様々な計画との連携を図りつつ推進する必要があります。

本計画の範囲につきましては、主として学習活動とそのための支援策を対象とし、その中でも民間教育事業者の学習事業、企業内訓練などの取り組みは範囲外とします。



## 3 計画の期間

計画の期間は、上位計画である奥州市総合計画及び奥州市教育振興基本計画に合わせ、平成29年度から令和8年度までの10年間とし、令和3年度までを前期計画、令和4年度以降を後期計画とします。ただし、社会情勢の変化を踏まえて必要に応じて、計画内容の検討と見直しを行います。

## 第2章 生涯学習を取り巻く環境

### 1 生涯学習を取り巻く社会状況

#### (1) 少子・高齢化が進行し、人口減少社会を迎えています

日本の人口減少は平成20年に始まり、65歳以上の高齢者の割合もすでに28%<sup>\*</sup>に達しました。令和2年の国勢調査では総人口1億2,622万人となっていますが、44年後の令和47年には8,808万人と69%にまで減少すると推計されています。そのうち、65歳以上の高齢者が占める割合は約4割になると推計されています。

<sup>\*</sup>高齢化率28.7%（令和2年9月15日現在）…総務省統計局

#### (2) 地域社会・家族形態の変容が進んでいます

都市化・過疎化の進行や核家族化の進展に伴い、地域社会や家族の形態が変化しています。価値観やライフスタイルが多様化する中で、地域における人間関係の希薄化が進み、人々のつながりや支え合いといった地域社会の機能の低下が指摘されており、こうしたことを背景に、若者の就労意識も変化し、ニートやフリーターが増加する一方で、高齢者の孤立化なども社会問題化しています。

#### (3) グローバル化に伴い社会経済状況の変化が進んでいます

グローバル化により、国際競争の激化、情報や通信に関する技術の急速な発達と普及など、国境を超えた様々な活動が拡大し、経済や文化など様々な場面でグローバル化に対応できる人材の育成が求められてきましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大がこの流れを鈍化させる傾向も見られます。

#### (4) 雇用・就業環境の変化と格差の拡大が進んでいます

国内の製造業の生産拠点が海外に移転するなど地域経済の基盤が弱まるとともに、終身雇用制度が崩れ、非正規雇用者の増加により、所得や生活の格差の拡大や固定化が懸念されています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による日常生活の自粛等により、経済活動の停滞が生じています。

#### (5) 情報化により生活様式に変化をもたらしています

情報通信技術の進展により、経済活動や日常生活などあらゆる分野で情報化が進んでいます。地球規模で時間や距離の制約が小さくなり、インターネットを通じた新たな人間関係が築かれるなど生活様式に大きな変化をもたらしています。

また、ギガスクール構想により小中学校で1人に1台の端末機が整備される等、環境の変化が生じています。

#### (6) 安全・安心への関心が高まっています。

東日本大震災以降、改めて自然災害の備えや日常生活での防災意識が高まるなど、安全・安心への関心が高まっています。また、新型コロナウイルス感染症が、世界中の人々のあらゆる場面における生活様式に大きな変化をもたらしており、一日も早い収束が望まれています。

## 2 生涯学習をめぐる国及び県の動向

### (1) 国の動向

時期	項目	概要
平成30年	中央教育審議会答申	「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」 地域において社会教育が目指すべきものとして、「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりを挙げるとともに、その具体的な方策を提示。また、今後の社会教育施設の在り方について提言している。
平成30年	教育振興基本計画 (6月15日閣議決定)	第2期教育振興基本計画において掲げた「自立」、「協働」、「創造」の3つの方向性を実現するための生涯学習社会の構築を目指すという理念を引き継ぎつつ、2030年以降の社会の変化を見据えた教育政策の在り方を示している。

### (2) 県の動向

#### ○岩手県教育振興計画（平成31年）

いわて県民計画（平成21年）に掲げる教育政策のうち教育委員会が所管する分野の基本方向「岩手の教育振興」が平成30年に終了したことに伴い、平成31年度からの新たな教育振興の取り組みの指針となる「岩手県教育振興計画」を策定。

基本目標 学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり

取り組みの視点

- ・岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進
- ・郷土に誇りと愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成
- ・学びの場の復興の更なる推進

#### ○岩手県教育振興運動（昭和40年提唱）

岩手県独自の教育運動として、子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が相互連携し、地域の教育課題の解決に取り組む運動。

令和2年度から『岩手県「地域学校協働活動・教育振興運動」推進5か年プラン（令和2年度～6年度）』に基づき、全県共通課題（「情報メディアとの上手な付き合い方」、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）との連携による、「目指す子どもの姿」の共有に基づく運動の展開」と地域の教育課題の連動により、地域総ぐるみで子どもを教え、育てる仕組みの再構築に取り組んでいます。

◇「情報メディアとの上手な付き合い方」◇

急速に普及しつつあるスマートフォン等の情報メディアは、情報の入手やコミュニケーションツールとして非常に便利ですが、一方で、個人情報の流出等により事件や犯罪に巻き込まれる危険性も高まっており、子どもの学力や体力の向上、基本的な生活習慣の確立等にも様々な影響を与えることが懸念されています。

これまでもテレビやゲーム等の情報メディアの使い方については、問題点が指摘され様々な取り組みを行ってきていますが、改めて子どもや大人の情報メディアの使用実態をきちんと把握し、これまで以上に身近な教育課題となっていることを共有するとともに、地域ぐるみで自主的・自立的な取組を進めることが必要です。

また、問題があるからと言って大人側が一方向的に規制するのではなく、学びを通じて児童生徒の意識が変わり、自らより良い使い方を考え「情報メディア」と上手に付き合っていける力を育てていくことが重要です。

同時に、多様な体験・交流活動の機会の創出による地域課題の解決に取り組み、身の回りには情報メディアとは違う楽しく有意義なものがたくさんあることに気づかせるとともに、直接的な体験・交流によって情報モラルのもとになる豊かな心を育むことで、情報メディアの上手な使い方にもプラスの効果波及させることを目指しています。

岩手県教育振興運動説明資料（岩手県教育委員会作成）より引用

※ ここでいう「情報メディア」とは、携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機等のインターネット通信によりコミュニケーションをとることができる機器等のことで、これらが子どもに及ぼす様々な影響や危険等についての取り組みでの呼び名として用いています。

## 第3章 奥州市の現状

### 1 奥州市の社会状況

#### (1) 奥州市の特徴

本市は、岩手県の内陸南部に位置し、北上山地と奥羽山脈に挟まれ、その中心を北上川が流れる肥沃な地帯です。奥羽山脈から北上川へと流れる胆沢川によって開かれた扇状地である胆沢平野は、日本三大扇状地の一つと数えられています。市内約22,000haに及ぶ農地からは、食味ランキングが特Aに格付けされる米や国内最高品質を誇る前沢牛、高級りんごとして名高い江刺りんごなど、大地の恵みあふれる農産物が生産されています。

焼石岳を主峰とする奥州市西部に位置する焼石連峰は、ブナの原生林が多く残されており、そこから流れる河川は、胆沢ダムにより生まれた奥州湖につながり、カヌー競技等のアウトドアアクティビティによる新しい観光資源として注目されています。

さらに、Z項発見の場所にもなった国立天文台水沢V L B I 観測所があり、令和元年にはブラックホールの撮影に成功するほか、高野長英、後藤新平、斎藤實など、江戸末期から現代へと続く近代日本を切り開いた偉人を多く輩出しています。

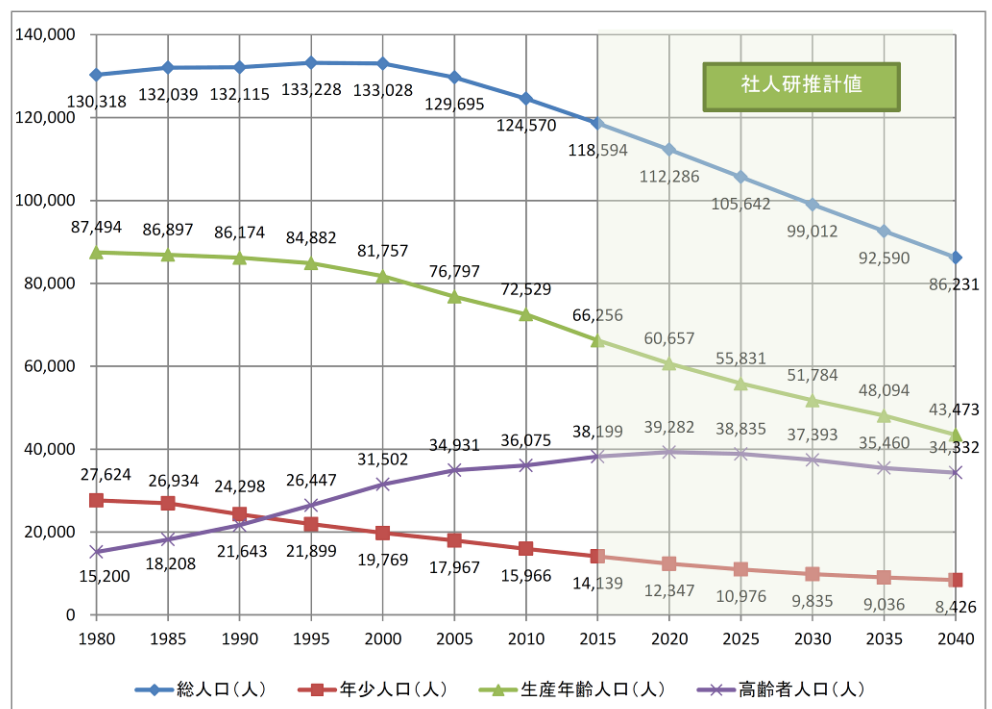
市内周辺には自動車関連産業をはじめとする工業集積が進んでいるほか、物質の根源や宇宙の起源などを研究する素粒子物理学研究施設の国際リニアコライダー（ILC）の誘致に積極的な運動を展開しています。

#### (2) 奥州市の人口

奥州市人口ビジョン（平成28年3月策定）によると、奥州市の総人口は2000（平成12）年以降、減少傾向にあり、今後も減少が続くとされています。

年少人口（0歳から14歳）及び生産年齢人口（15歳から64歳）は、1980（昭和55）年以降減少傾向にあります。一方、高齢者人口（65歳以上）は、一貫して増加傾向にあり、今後は2020（令和2）年をピークに、その後はゆるやかに減少していく、と推計されています。

図表：総人口の推移と将来推計（単位：人）



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



## 2 奥州市の生涯学習の現状

### (1) 奥州市の動向

奥州市では、協働まちづくり部生涯学習スポーツ課（総合支所含む）、図書館において生涯学習事業を実施しており、家庭教育の支援などのライフステージに応じた社会教育事業、社会教育関係団体の支援、芸術文化の推進等にも取り組んでいます。

また、市内30地区にある地区センターと連携することで、多くの市民に学習機会を提供しております。

なお、地区センターは平成30年度にすべての地区振興会などの地域自治組織による指定管理施設となり、当市が目指す協働のまちづくりの拠点として、それぞれが個性を発揮した事業に取り組んでいます。

### (2) 生涯学習施設

学習活動や文化活動等のために施設の貸し出しを行っています。併せて、青少年育成等に関わる事業の実施、生きがいつくりや社会参加に関わる事業を実施しています。

奥州宇宙遊学館は、緯度観測所の旧本館を保存活用し、楽しみながら天文や宇宙について学べる施設として設置しています。

地域	施設名	施設内容
水沢	後藤伯記念公民館	日本初の公民館、令和元年登録有形文化財指定、ホール、武道場、日本間、会議室(3)
	奥州宇宙遊学館	平成29年登録有形文化財指定 常設展示室、シアター室
	奥州市文化会館	大ホール、中ホール、楽屋(5)、展示室、会議室(2)、リハーサル室、和室(3)、練習室(3)
江刺	江刺生涯学習センター	研修室(5)
	江刺体育文化会館	ホール、楽屋(4)、会議室
前沢	前沢ふれあいセンター	ホール、楽屋(3)、リハーサル室、和室(2)、研修室(2)
胆沢	胆沢文化創造センター	大ホール、小ホール、楽屋(3)、スタジオルーム、和室会議室、研修室(2)
衣川	衣川セミナーハウス	和室(7)、ホール(2)、図書室

### (3) 図書館

市内に4館（水沢、江刺、前沢、胆沢）、衣川セミナーハウスに図書室を設置しています。

それぞれの施設で企画展・資料展を開催するなど、市民の身近な図書館を目指して、図書資料の収集と提供を行うとともに、レファレンスサービス\*をとおして、多様化する市民ニーズに対応した取り組みを行っています。

図書館（室）蔵書数 令和2年度末現在（単位：冊）

\* レファレンスサービス…図書館利用者が求める資料や情報などを検索し、提供・回答するサービス

図書館	一般	児童	郷土	視聴覚	図書館計
水沢図書館	189,174	61,145	12,676	6,775	269,770
江刺図書館	88,270	39,892	13,832	1,668	143,662
前沢図書館	32,397	15,839	8,888	715	57,839
胆沢図書館	43,254	24,230	6,283	1,237	75,004
衣川図書室	14,559	7,890	1,548	116	24,113
計	367,654	148,996	43,227	10,511	570,388

### (4) 地区センター

運営主体である地区振興会等が、地域住民のコミュニティづくりと学習や文化などの活動を行うとともに、現代的課題\*や地域課題に関わる事業を実施するなど、地域に根ざした運営を行っています。

\* 現代的課題…一般的には「生命、健康、人権、豊かな人間性、家庭・家族、消費者問題、地域の連帯、まちづくり、交通問題、高齢化社会、男女共同参画型社会、

科学技術、情報の活用、知的所有権、国際理解、国際貢献・開発援助、人口・食糧、環境、資源・エネルギー等」（平成8年、第3期生涯学習審議会答申より引用）

市内地区センター一覧

地域	地区センター名
水沢	水沢、水沢南、常盤、佐倉河、真城、姉体、羽田、黒石
江刺	岩谷堂、江刺愛宕、田原、藤里、伊手、米里、玉里、梁川、広瀬、稲瀬
前沢	前沢、古城、白山、生母
胆沢	小山、若柳、胆沢愛宕、南都田
衣川	北股、南股、衣川、衣里

### 3 市民の生涯学習の現状

#### (1) 市民の地域活動への取り組み状況

市では、平成28年に2060年までの人口目標を定めた「奥州市人口ビジョン」と人口目標を達成するための基本方針を定めた「奥州市・まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

策定にあたり、奥州市の暮らしやすさ、これからの奥州市のまちづくり、市民参画と地域活動、環境学習、結婚・子育ての状況について、20歳以上の市民3,000名を対象にアンケート調査を実施し、995名から回答をいただきました。さらに、令和元年に同様の再調査を行い、1,121名から回答をいただいております。

#### 【住民アンケート】

設問 あなたは、どのような市民活動、地域活動に参加していますか？

3-②市民活動、地域活動参加状況		1一年以上参加		2参加して間もない		3現在はやめている		4これから参加		5参加しない	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
(1)自治会、町内会	今回	444	43.9%	51	5.0%	279	27.6%	91	9.0%	146	14.4%
	前回	370	43.7%	45	5.3%	201	23.7%	104	12.3%	127	15.0%
(2)青少年育成活動、PTA	今回	159	16.3%	20	2.1%	416	42.7%	93	9.5%	286	29.4%
	前回	118	14.3%	28	3.4%	331	40.0%	104	12.6%	247	29.8%
(3)青年会、老人クラブ、女性団体	今回	173	17.4%	16	1.6%	225	22.7%	202	20.4%	376	37.9%
	前回	155	18.5%	23	2.8%	191	22.8%	167	20.0%	300	35.9%
(4)スポーツ、趣味サークル	今回	163	16.4%	24	2.4%	250	25.1%	215	21.6%	344	34.5%
	前回	159	18.8%	22	2.6%	206	24.3%	165	19.5%	295	34.8%
(5)子育て支援活動	今回	30	3.1%	9	0.9%	273	28.3%	183	19.0%	469	48.7%
	前回	27	3.3%	12	1.5%	187	22.7%	174	21.1%	424	51.5%
(6)障がい者補助、高齢者介護ボランティア	今回	34	3.5%	11	1.1%	135	14.0%	303	31.3%	484	50.1%
	前回	35	4.2%	19	2.3%	125	15.0%	244	29.3%	410	49.2%
(7)防犯パト、交通安全ボランティア	今回	74	7.6%	20	2.0%	200	20.5%	238	24.4%	444	45.5%
	前回	66	7.9%	29	3.5%	162	19.4%	203	24.3%	374	44.8%
(8)清掃美化、環境保護	今回	316	31.6%	42	4.2%	201	20.1%	209	20.9%	233	23.3%
	前回	299	35.1%	34	4.0%	152	17.8%	182	21.3%	186	21.8%
(9)祭、伝統芸能継承保存	今回	111	11.3%	11	1.1%	202	20.6%	182	18.5%	476	48.5%
	前回	93	11.1%	22	2.6%	176	21.0%	147	17.6%	399	47.7%

この回答から、生涯学習に関連する2項目に着目し、参加割合を5年前と比較すると、

- ・「青少年育成活動、PTA」は17.6%から18.4%に増加
- ・「青年会、老人クラブ、女性団体」は21.3%から19.3%に減少

と概ね前回と同様の回答になっています。

項目	青少年育成活動、PTA				青年会、老人クラブ、女性団体			
	H27		R01		H27		R01	
① 1年以上参加	118	17.6%	159	18.4%	155	21.3%	176	19.3%
② 参加して間もない	28		20		23		16	
③ これから参加	331	40.0%	416	42.7%	191	22.8%	225	22.6%
④ 現在はやめている	104	12.6%	93	9.5%	167	20.0%	202	20.3%
⑤ 参加しない	247	29.8%	286	29.4%	300	35.9%	376	37.8%
合計	828	100.0%	974	100.0%	836	100.0%	995	100.0%

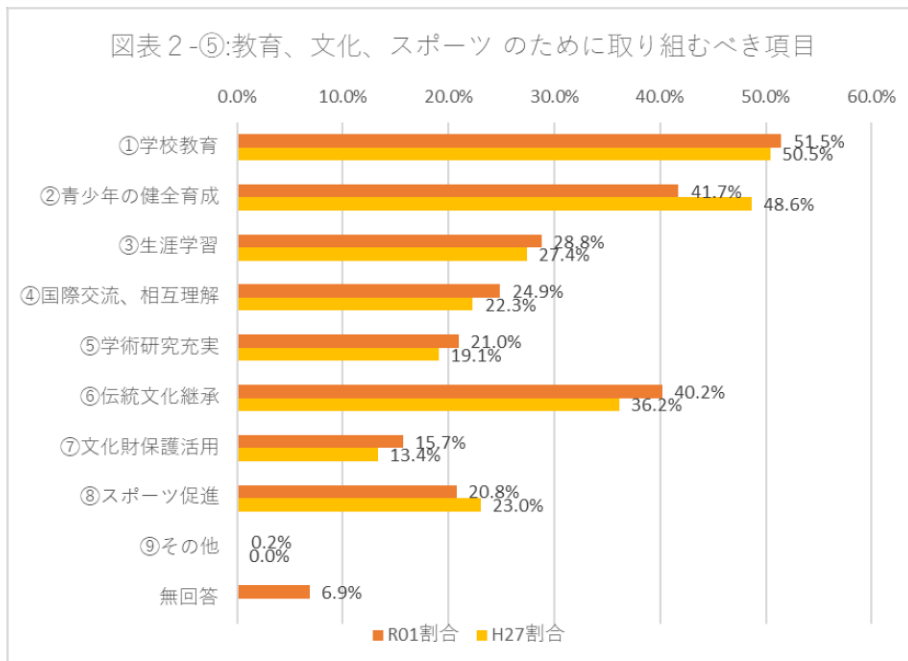
## (2) 市民の生涯学習に対する期待

同じアンケート調査で、教育・文化・スポーツに関する取り組みで、今後特にどのようなことに力を入れて取り組むべきかの調査について前回比較したところ、生涯学習関連では概ね前回と同等の回答であり、個別には次の傾向が見られました。

- ・青少年健全育成が48.6%から41.7%に減少
- ・生涯学習が27.4%から28.8%に増加

2-⑤ 教育、文化、スポーツに関する取組について、今後特にどのようなことに力を入れて取り組むべきとお考えですか？次の中から3つまでを選び、番号に○をつけてください。

教育・文化・スポーツについて、前回同様に「学校教育」が最も多く、全体の51.5%の市民に選択されました。また、「青少年健全育成」「伝統文化継承」等もそれぞれ取り組むべき、とされています。



2-⑤教育文化スポーツ取組	R01回答数	R01割合	H27回答数	H27割合
①学校教育	577	51.5%	502	50.5%
②青少年の健全育成	468	41.7%	484	48.6%
③生涯学習	323	28.8%	273	27.4%
④国際交流、相互理解	279	24.9%	222	22.3%
⑤学術研究充実	235	21.0%	190	19.1%
⑥伝統文化継承	451	40.2%	360	36.2%
⑦文化財保護活用	176	15.7%	133	13.4%
⑧スポーツ促進	233	20.8%	229	23.0%
⑨その他	2	0.2%	0	0.0%
無回答	77	6.9%	-	-

## 第4章 これまでの取り組みと課題、指標の達成状況

### 1 生涯にわたる学習活動への支援

#### (1) 生涯学習事業の推進

地区振興会などの地域自治組織による指定管理がなされる地区センター事業において、陶芸教室、料理教室、ハーバリウム教室、古文書セミナー、IT講習会、郷土史、地元学講座、〇〇大学等の多種多様な講座等が開催されております。

事業実施においては、県などの関係機関や団体等との連携によって得られた情報を広報おうしゅう、地区センター広報誌やホームページ等を活用して情報提供に努めました。

日々、多様化、細分化する生涯学習ニーズを把握することの困難さがあり、事業実施数も伸び悩みが見られますが、アンケートや関係機関等の情報を利用して継続的に取り組む必要があります。

生涯学習の総合的な推進体制については、関係団体との情報交換や各種会議における提言等を随時反映させるよう努めてまいりました。

#### 【参考】地区センター講座等実施件数

	H27	R01	※数値比較において、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による中止等が多いため、直近の数値を使用した。 以下、同様の数値について同じ。
成人教育	282件	176件	
高齢者教育	129件	96件	

※ 積極的な施策の展開を図ることとした「家庭教育の支援」、「青少年育成の推進」については後述します。

#### (2) 地域支援体制の構築

地区振興会等による事業実施のためには人材育成が重要であることから、市が実施する協働のまちづくりアカデミーや県が実施する様々な生涯学習関係の研修の受講を促し、地域の魅力発見や課題解決手法の習得環境を整備しました。

また、放課後子ども教室、読み聞かせ、学校支援地域本部事業等に関わる人材については、地域の子どもを守り育てるボランティア活動の参加が活発であり、地域の活性化にもつながっています。

なお、豊富な知識や経験を持った人材の発掘・養成・活用については、活躍する個人や団体の発掘について、生涯学習・スポーツリーダーバンク制度の登録者が25名であり、各種講座等への派遣とともに登録者の増加を図るべく、継続的なPRが必要です。

#### 【参考】生涯学習・スポーツリーダーバンク登録者

H28～	おうしゅう生涯学習サポーター制度	21名	平成28年度に制度開始、令和2年度に制度を統合して見直し。
	おうしゅうスポーツリーダーバンク	52名	
R02～	生涯学習・スポーツリーダーバンク	25名	

### (3) 家庭教育の支援

家庭環境の多様化や地域社会の変化を背景に課題解決に資する学習機会の提供のため、認定子ども園、幼稚園、保育所、小中学校における保護者向けの家庭教育講演会の開催を支援しました。多様なテーマで開催される貴重な講演会が多数開催されていることから、今後も多くの保護者に参加されるような工夫が必要と考えられます。

また、子育てひろばにより、子育てに関する悩みや不安の解消に向けた親同志の交流や情報交換、親子のふれあいの場を設け、4か月児健診時においては絵本の読み聞かせや絵本の提供を行うブックスタートを実施。幼少期からの学習機会の提供は就学後の読書習慣を促すものと考えており、読書ボランティアの研修等も積極的に実施しました。

#### 【参考】

	H27	R01
家庭教育講演会支援事業数	22件	18件
県・市主催読書ボランティア研修会参加者（高校生を除く）	88名	105名

### (4) 青少年育成の推進

岩手県教育振興運動との協調においては、「情報メディアとの上手な付き合い方」（平成27年度～令和元年度。令和2年度以降も継続）を全県共通課題として掲げ、奥州市の活動テーマを「望ましい生活習慣の定着」、「読書週間の定着」として地域ぐるみの活動、市全体での講演会等に取り組みました。

#### 【参考】

	市教育振興運動講演会 概要	参加者数
H27	演題：「子どもたちからの警鐘～情報メディア利用の光と影～」 講師：小児科医 田澤 雄作さん	96名
R01	演題：「テストの点数より大事！非認知能力って？ ～子どもたちの幸福のために今知っておきたいこと～」 講師：千田クリニック副院長 千田 恵美さん	117名

放課後子ども教室は、別に実施されている「放課後児童クラブ」（保護者の就労により放課後の児童の居場所確保事業…健康子ども部所管）とは異なり、すべての子どもを対象に地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ、地域行事や伝統文化活動等を異学年との交流を含めて体験する、安心、安全な居場所を設けるものです。協力いただく運営団体の指導者に対する研修会により、安全管理やスキルアップを図っています。

#### 【参考】

放課後子どもプラン指導者研修会（県・市主催） 参加者数	H27	R01
	192名	140名

学校支援地域本部事業については平成28年度の中学校区5箇所から平成31年度に前沢中学校区を追加して6箇所に増え、学校教育への地域ボランティア人材の活用により、授業のサポ

ート、図書室の本の修理、校内の装飾活動等、登下校の見守り等により学校の負担軽減と地域ぐるみの子育て支援が展開されています。

【参考】

学校支援ボランティア研修会（県・市主催）	参加者数	H27	R01
※研修の機会が年々増加しています。		3名	49名

今後、全国的に導入される「コミュニティ・スクール」との調整及び、市内では小中学校の再編が行われる予定があることから、地域ごとの関係者による運営体制の検討が不可欠です。また、青少年の社会参加活動の推進、異年齢間及び世代間交流事業、ジュニアリーダー等養成講座の開催等では、教育振興組織が中心となって地域の特色を生かした取り組みが実施されていますが、地域間の情報交換等により、活動内容の充実を図ることも大切です。

(5) 生涯学習施設の整備充実

老朽化、経年劣化が進む施設が多く、令和3年3月に市が定めた公共施設等総合管理計画・個別施設計画に基づき計画的な維持管理を行う必要がありますが、市の財政状況が芳しくない現状に鑑み、より具体的な計画の検討が必要です。

(6) 成果指標

指標名	現状値 (H27)	目標値 (R03)	実績値 (R01)	指標に関する説明等
社会教育講座受講者数対総人口比率	63.1%	60.0%	55.97%	H26 60.0%の現状維持で目標設定 H27 地区センターの指定管理者制度導入に向けた取り組み多数 R02 18.41%

講座の受講者数が、目標値を4%ほど下回っており、日々、多様化するニーズを的確に捉えた講座の開催が求められることから、事業の振り返りやニーズの把握がより重要と考えられます。一方で、インターネットを活用した個人での生涯学習活動も浸透しており、コロナ禍における取り組みにも合致することから、今後の動向に注視してまいります。

2 本に親しむ活動の推進

幼少期から読書習慣が身につくよう、4か月児健診におけるブックスタート事業、読書ボランティアによる読み聞かせを実施、中学生、高校生を対象とした読み聞かせの人材育成も行われる等、読書環境が構築されており、県内においても小学校5年生、中学校2年生の平均読書冊数は県内平均を上回っています。一方、高校2年生になると県内平均を下回ることから、高学年における読書の推進が課題です。

【参考】 令和2年度調査 1か月の読書冊数

	県平均	市平均
小学5年生	18.0冊	22.2冊
中学2年生	5.1冊	7.8冊
高校2年生	2.5冊	2.3冊

また、図書館の利用については、インターネットによる貸し出し予約の要望があり、今後の検討課題となっています。

#### 成果指標

指標名	現状値 (H27)	中間目標値 (R01)	目標値 (R03)	実績値 (R02)	指標に関する 説明等
市民一人あたり 図書館蔵書数	4.6冊	4.7冊	4.9冊	5.0冊	
市民一人あたり 図書等貸出冊数	5.1冊	5.1冊	5.1冊	5.0冊	H27 現状維持

概ね目標を達成する見込みであり、今後も継続した整備が求められる。

### 3 芸術文化の推進

様々な分野で活躍している団体及び個人の成果発表の場として市民芸術文化祭を毎年開催し、文化活動の高揚を図っています。また、市内各地での市民劇場や子どもを対象としたジュニアミュージカル、オーケストラ、ダンスアカデミー、Zホール児童合唱団等、地域に根差した市民参加型の舞台活動が展開されました。

また、文化会館において指定管理者による鑑賞型の事業が開催されています。

少子高齢化時代において、様々な場面での後継者不足が懸念されるどころ、市が総合計画の策定のために令和3年に実施した市民アンケートにおいて、地域の伝統文化活動の継承と芸術に触れる機会の充実の項目の伸びが目立っています。

なお、文化会館については、(5) 生涯学習施設の整備充実項目のとおり、老朽化に対する計画的な整備が求められています。

また、長い年月のもとで育成されてきた芸術文化活動が、新型コロナウイルス感染症の影響による活動の衰退につながらないか懸念されるどころです。

【参考】 令和3年5月 市民アンケート 回答者数1,268人 回答率42.3%

設問	結果
教育、文化、スポーツに関する取組について、今後どのようなことに力を入れて取り組むべきとお考えですか？次の中から3つ選んでください。	教育、文化、スポーツに関する取組について、「豊かな感性、確かな学力を育む学校教育の充実」に力を入れて取り組むべきと考える割合が57.2%（前回51.5%）と最も高く、次いで「地域の伝統・文化の継承と芸術に触れる機会の充実」に力を入れて取り組むべきと考える割合が43.6%（前回40.2%）と高くなっています。



【参考】文化会館ホール利用状況

施設名		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
奥州市文化会館 (Zホール)	大ホール	64,353	62,601	16,565
	中ホール	32,912	35,345	10,107
	展示室	13,401	13,072	6,824
	和室	2,947	2,994	1,398
	会議室	10,798	14,795	5,756
	リハーサル室	10,167	12,593	4,451
	練習室	2,121	1,713	1,145
	ギャラリーZ	4,284	4,703	1,498
江刺体育文化会館 (ささらホール)	ホール	35,975	28,434	11,537
	会議室等	5,663	4,920	2,601
前沢ふれあいセンター	ホール	18,157	20,290	6,442
	研修室	10,284	9,710	5,723
	和室	4,093	4,191	3,455
	リハーサル室	3,541	3,720	579
	ロビー・ホワイエ	6,346	4,824	1,691
胆沢文化創造センター	大ホール	21,658	17,885	8,091
	小ホール	15,811	16,971	10,879
	和室	619	734	268
	研修室	2,551	3,481	1,395
	創作室	1,031	425	218
	スタジオルーム	803	680	336
	エントランス	5,174	3,837	331

成果指標

指標名	現状値 (H27)	中間目標値 (R01)	目標値 (R03)	実績値 (R01)	指標に関する説明等
文化会館利用者数 対総人口比率	231.4%	230.0%	230.0%	241.8% (R2:95.5%)	

概ね目標を達成する見込みであり、芸術文化の推進を図るべく今後も様々な鑑賞機会や活動場所を提供する必要があるが、コロナ禍における活動自粛の影響が懸念される。

## 第5章 計画の基本目標と方向性

### 1 基本目標

本市が目指す基本目標を以下のとおり示します。

#### 基本目標

### 豊かな生き方を築く生涯学習・文化活動の推進

地域の伝統・文化を尊重し、これを育んできた郷土を愛することを自己認識の起点とし、赤ちゃんから高齢者まで、障がい者や外国人住民などあらゆる市民一人ひとりが自主的に自己を研鑽するとともに、市民の相互支援、協働などによる、学びの成果の効果的な活用を通じて、新しい価値を創造し豊かで生きがいのある人生を構築できるまちを目指します。

また、芸術文化の継承・発展若しくは創造が、市民の主体的で多様な活動を通じ次世代につながる心豊かで活力あるまちを目指します。

### 2 基本方針

基本目標の達成のために、本計画では次に掲げる3つの方針を設定します。

#### (1) 自ら学ぶ生涯学習（自主）

市民が生きがいのある心ゆたかな人生を送るために、生涯にわたって学びを深め、活かしていくことができる学習社会を目指します。

#### (2) 協働による生涯学習（協働）

市民・団体等がお互いの自主性を尊重しつつ、それぞれの役割と責任に基づき、パートナーとしてともに学び、学びを生かし、学びの成果や絆が地域に受け継がれる生涯学習を推進します。

#### (3) まちづくりにつながる生涯学習（創造）

「まちづくりは市民が主人公」の視点に立ち、市民が自主的に生涯学習に関わり、心ふれあう潤いと活力に満ちた新たな住みよいまちづくりを目指します。

### 3 施策の柱

本計画を推進するための施策の柱を以下のとおり設定します。

併せて「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標を掲げるSDGsと本計画の関係を、次の2つの目標と合致するものとして示します。

国連版	奥州市版
<b>目標4 質の高い教育をみんなに</b>	
 <p>「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。」</p>	 <p>自由に学べる環境をみんなに</p>
<b>目標5 ジェンダー平等を実現しよう</b>	
 <p>「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」</p>	 <p>お互いを尊重し合おう</p>

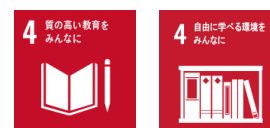
#### (1) 生涯にわたる学習活動への支援

地域リーダーの養成や地域の教育力を高めるために、指導者の育成、事業実施に係る助言指導や講師の紹介など各地域における自主的な学習活動支援に取り組みます。また、社会教育活動の基本である情報や学習機会の提供、「知の拠点」「情報の拠点」として役割をもつ図書館との連携を図ることにより、現代における社会、地域コミュニティ及び家庭等における諸課題に対応し、新たな価値を創造することができる環境づくりを進めます。



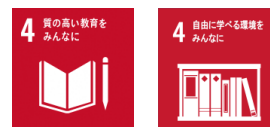
#### (2) 本に親しむ活動の推進

豊かな情操と自由な想像力並びに社会の変化に対応した知識や課題解決力の習得等に資する、人生の諸段階に応じた読書活動を進めます。また、読書活動を支える人材の育成・活用と図書資料や施設などの整備を進めます。



#### (3) 芸術文化の推進

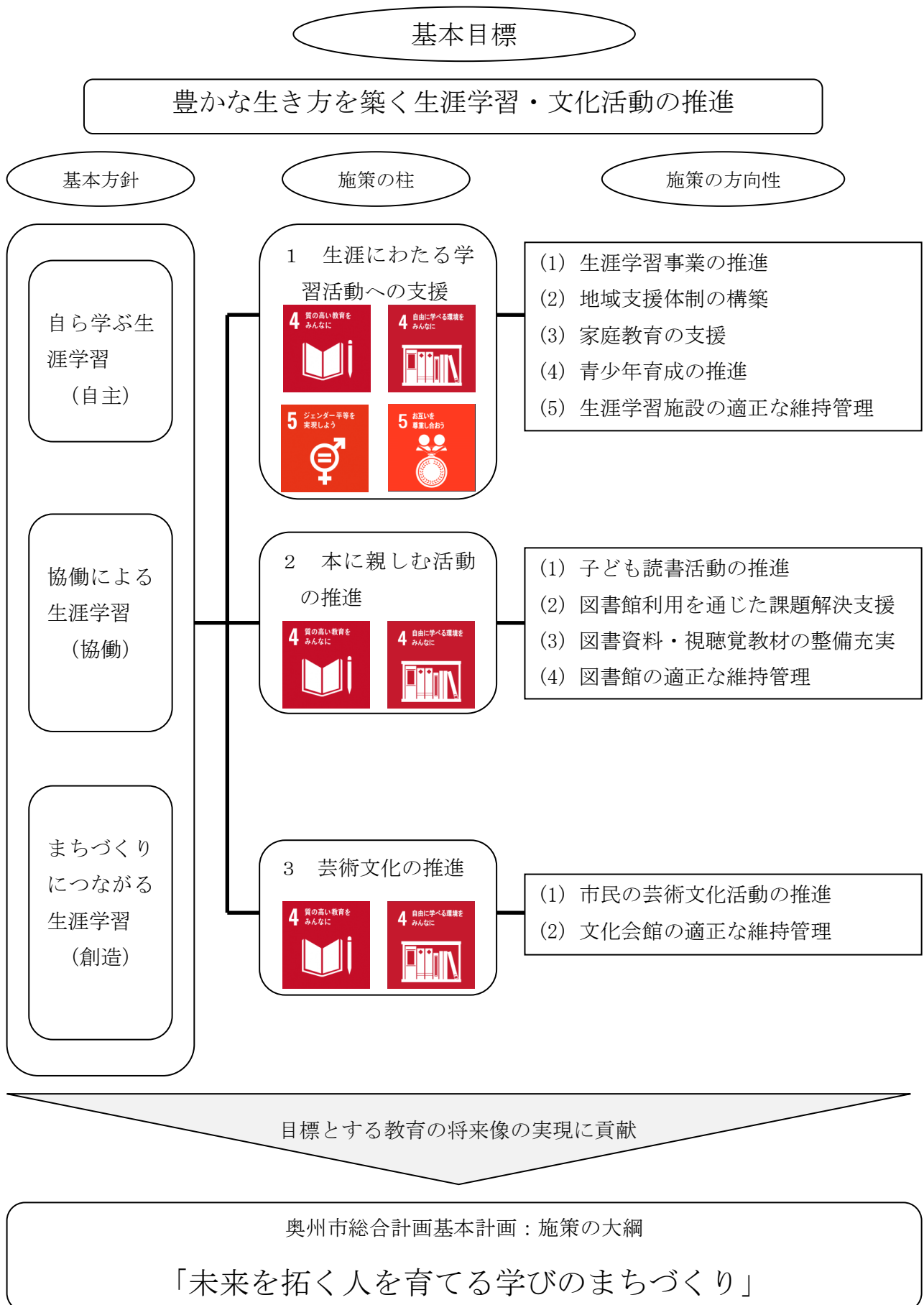
芸術文化に触れて喜びや感動を味わうとともに、表現力や創造力が磨かれ創造意欲を高めていくことができるよう、芸術文化を鑑賞できる機会を提供し、芸術文化が発展する環境を整備します。



また、これまで培われてきた文化や伝統を継承・発展させるため、奥州市芸術文化協会をはじめとする関係機関・団体などと連携しながら、多くの市民が主体となる多様な文化活動を支援します。

## 4 施策の体系

本計画の施策の体系は以下のとおりとします。



1 生涯にわたる学習活動への支援

(1) 生涯学習事業の推進

市全域での生涯学習への取り組みや、各地域毎の積極的な生涯学習事業を広げていくために、各種取り組みを一体的に進めます。

市民の多様な学習ニーズに対応するために、関係機関や団体と連携して、多様な学習機会を提供できる体制を充実します。

① 市民ニーズに応じた学習情報の提供

日々、多様化、複雑化する地域課題等の解決につなげるため、学習ニーズの把握に努めるとともに学習情報の提供を進めます。

項目・区分	概要
学習ニーズの把握	各種講座、教室等の受講生を対象としたアンケートの実施による学習ニーズの把握に取り組みます
多様な情報提供	広報おうしゅうや地区センター広報誌、ホームページ等インターネットの活用等、多様な情報媒体を活用して生涯学習情報を提供します

② ライフステージに応じた学習機会（社会教育事業）の提供

本計画では、人の生涯を乳幼児期、青少年期、成人期、高齢期の4期に分類しています。乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた学習機会の提供を進めます。

特に、乳幼児期と青少年期については、親とのふれあいや地域社会での体験を通じて「生きる力」を育むことが大切であることから、これらに相当する「家庭教育の支援」及び「青少年育成の推進」の2項目を積極的に展開することとして後述します。

項目・区分	概要	例示、事業名等
家庭教育の支援	(3) 家庭教育の支援にて詳細を記載	
青少年教育の推進	(4) 青少年育成の推進にて詳細を記載	
成人教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き盛り世代の生活を豊かにする、関心と興味を持ってそうな講座</li> <li>現代的課題に対応した講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>趣味、教養講座</li> </ul>
高齢者教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>長寿社会において生きがいとなる、豊かな生き方を築く講座</li> <li>長い人生経験で培われた技能や知識を地域づくりや団体活動に活用し、高齢者の生きがい創出を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>趣味、教養講座、ボランティア養成講座、シニアIT講習会</li> <li>生涯学習・スポーツリーダーバンク</li> </ul>
団体の育成、支援	教育振興組織、青少年活動団体、ボーイスカウト、ガールスカウト、PTA連合会、婦人組織、ユネスコ協会等	

③ 奥州市の地域資源を活用した学習機会の提供

奥州市の自然や伝統行事、国立天文台水沢V L B I観測所における天文学等の研究、高野長英・後藤新平・斎藤實など江戸末期から現代へと続く近代日本を切り開いた偉人の歴史・文化、工業集積とともに蓄積されるものづくり文化など、市内に有する様々な地域資源を活用し、地域性のある学習機会の提供を進めます。

項目・区分	概要
学習機会の提供	・宇宙遊学館の施設観覧
	・後藤伯記念公民館の施設貸出
	・市内施設における講座等 高野長英記念館、後藤新平記念館、斎藤實記念館、菊田一夫記念館、奥州市武家住宅資料センター、後藤新平旧宅、内田家旧宅、旧高橋家住宅、高野長英旧宅、水沢乙女川先人館、胆沢郷土資料館、奥州市埋蔵文化財調査センター、奥州市牛の博物館、江刺郷土文化館、衣川歴史ふれあい館、奥州市鋳物技術交流センター
	・地区振興会主催による地元学講座等
団体の育成、支援	青少年団体、芸術文化団体等

④ 生涯学習の総合的な推進体制の充実

関係機関や団体との連携を図り、意見等の反映により生涯学習の総合的な推進を図る体制を構築します。

項目・区分	概要
生涯学習推進に対する提言等	・社会教育委員会議
	・子どもの読書活動推進委員会
	・放課後子どもプラン運営委員会
	・教育振興運動推進協議会
	・学校支援地域本部実行委員会
	・青少年問題協議会
	・衣川セミナーハウス運営協議会
	・奥州市立図書館協議会

(2) 地域支援体制の構築

地域の生涯学習拠点となる地区センターの指定管理者である地区振興会などの地域自治組織と継続的な意見交換を行い、円滑な事業実施体制を構築します。

また、各種研修の受講を促進し、人材育成を推進します。

① 地区振興会を核とした地域のつながりづくり

地区振興会等が企画運営する事業において住民同士の交流を深め、人と人とのつながりづくりが推進されるよう、事業内容や運営方法に係る相談及び情報提供を行います。

項目・区分	概要	事業名等
地区センターの指定 管理者との連携	・地区振興会が行う社会教育事業が、円滑に実施されるよう意見交換を行います。	
	・県教育委員会主催の研修会への参加を促進します	・対人スキルアップ専門研修講座、事業プログラム開発専門研修講座、事業周知・広報スキルアップ専門研修講座等

## ② 地域で活躍する人材の発掘・養成・活用

これまで培ってきた豊富な知識や経験を、地域における社会資源として活躍できる機会につなげるよう、人材登録及び人材活用制度の充実を図ります。

また、市民が主体となる学習活動やまちづくり活動を支援するため、コーディネーター人材の養成を進め、地域において活躍できるような人材育成に取り組みます。

項目・区分	概要	事業名等
人材登録及び人材活用制度	・学びたい方に対し、講義や実技指導をする人を登録、その情報を市民に広く提供し、各種団体・サークル活動を支援する。	・生涯学習・スポーツリーダーバンク
人材育成	・協働の担い手を育成、輩出するための講座。修了生同志のつながりも見せている。	・協働のまちづくりアカデミー

## (3) 家庭教育の支援

家庭は、子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育は、全ての教育の出発点とされています。

家庭環境の多様化や地域社会の変化により、多様化する課題の解決に資するよう、学習機会の提供や学習活動の支援などにより家庭の教育力の向上を図ります。

### ① 子どもとともに成長できる学習機会の提供

認定子ども園、幼稚園、保育所、小中学校との連携により、子どもの成長に応じた家庭教育学習を充実させ、保護者が家庭教育について重要性を認識することで、地域の教育力の向上に努めます。

項目・区分	概要
学習機会の提供	・家庭教育力向上を図るため、学校等での家庭教育講演会開催を支援します

### ② 子育てへの支援対策

子育てに関する悩みや不安を共有する、または軽減できる場として、子育て中の親同士や親子がふれあえる機会を提供し、子育てや家庭教育に関する学習を通じて、親同士の情報交換や仲間づくりを推進します。

また、地域における子育て支援の充実を図るため、岩手県主催による各種研修会の開催について参加を促進します。

項目・区分	概要	事業名等
学習機会の提供	・親子のふれあいの場、保護者同士の交流や情報交換の場を開設します。	・子育てひろば
	・保健センター、図書館の共同により、4か月児健診時において、絵本の読み聞かせと絵本の提供を行います	・ブックスタート
	・親子で幼児期から本にふれる場の提供	・絵本の読み聞かせ ・えほんの森
団体等の育成・連携	・保護者同士の交流や情報交換による子育てグループ育成支援	
指導者の育成・活用	・読書ボランティア研修会等	

#### (4) 青少年育成の推進

地域の子ども達が心豊かで健やかに育つことができる環境づくりを目指し、岩手県教育振興運動と協調しながら、家庭（子、保護者）、地域、学校、行政の連携を強化するとともに、青少年の社会参加・体験活動を支援し地域コミュニティの活性化を推進します。

なお、今後導入の拡大が見込まれるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）により、学校・家庭・地域が「目指す子どもの姿」を共有し、地域総ぐるみで地域学校協働活動・教育振興運動を展開することが求められています。

また、小中学校の再編が予定されていることから、地域ごとの関係者による運営体制の検討が不可欠です。

##### ① 岩手県教育振興運動との協調

昭和40年に提唱した岩手県独自の教育運動として、子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が相互連携し、地域の教育課題の解決に取り組む運動です。

岩手県「地域学校協働活動・教育振興運動」推進5か年プラン（令和2年度～6年度）に基づき、全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」と奥州市統一の活動テーマ「学校との連携・協働による運動の展開」、「読書習慣の定着」を連動して推進を図り、地域の教育力向上を目指します。

項目・区分	概要	事業名等
教育振興運動の取り組み	・教育振興組織による学習機会の提供 ・市統一の活動テーマの周知	・教育振興運動講演会
団体等の支援・連携	小中学校の再編に関する調整	

##### ② 放課後子ども教室の充実

地域の方々の協力を得て、子ども達が放課後等に地域の方々と交流できる安心な居場所を設



けるもので、地域行事や伝承文化活動の体験、異学年同士で読書や軽運動を行うなど、多様な体験活動を通じて子どもの豊かな心の醸成が図られています。

核家族化の進展や少子化の進行により、地域や家庭からも継続実施を望む声が多く、また市としても未来を担う大切な子ども達を守り育成していくという観点から、今後も事業を継続して実施します。

なお、実施に際しては、安全管理の徹底や学習アドバイザーのスキルアップに向けた各種研修会等を実施するほか、奥州市放課後子どもプランに基づき放課後の子ども支援に関する様々な団体の連携窓口の設置を継続します。

項目・区分	概要
放課後子ども教室の設置と運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置数（R03.4.1現在）13箇所 水沢3、江刺5、前沢4、胆沢1</li> <li>・学校の再編に伴う地域ごとの関係者による運営体制の検討が必要。</li> </ul>
事業の評価・検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子どもプラン運営委員会にて実施</li> </ul>
学習支援者の養成・活用・支援体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子どもプラン指導者等研修会（県及び市主催：年3回実施）</li> <li>・地域のボランティアスタッフにより様々な体験や世代間交流が実施されている</li> </ul>

### ③ 学校支援地域本部事業の充実

学校と地域の橋渡し役として「地域コーディネーター」を中学校区に配置し、地域住民が学校支援ボランティアとして活動しやすい体制づくりを支援する事業です。

この事業をとおして、地域全体で学校教育を支援することにより、教員が子どもと向き合う時間の拡充と地域の教育力の向上を図ります。

項目・区分	概要
学校支援地域本部の設置と運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援地域本部（R03.4.1現在）6か所 学校支援本部構成校（小・中学校）の学校長、教職員、PTA、地区振興会等、地域コーディネーター、学校支援ボランティアで構成</li> <li>・コミュニティ・スクールの導入との調整が必要</li> </ul>
事業の評価・検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市学校支援地域本部実行委員会</li> </ul>
コーディネーターの養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援地域コーディネーター等研修会等、県主催研修会への参加促進</li> <li>・地域コーディネーター情報交換会開催</li> </ul>

### ④ 青少年の社会参加活動、異年齢間及び世代間交流活動の実施

青少年が地域行事や社会体験活動へ参加し、社会性や協調性を身につける機会を提供します。また、子どもが多くの人々と関わることで豊かな価値観や自立心を育めるよう、異なる学年同士や他の世代との交流を推進し、地域の自然や伝統行事など、先人が守り育て受け継いできた地域資源を体験し、地域の魅力を再確認できる機会をつくります。

なお、特色ある地域ごとの取り組みについて、情報交換をすることにより、活動内容の充実を図ります。

項目・区分	概要	事業名等
学習機会の提供	・教育振興運動推進協議会による各地域の事業連携	・かぜの子学級、寺子屋
	・地区振興会主催による青少年対象事業	
団体の育成	各地域の教育振興組織間の情報交換による活動内容の充実	教育振興運動推進協議会

⑤ ジュニアリーダー等養成講座の開催

子どもの集団のリーダーと、子どもたちを指導する大人の指導者を育成するため、研修会の機会を充実させます。

項目・区分	概要
リーダー養成・指導者研修会の支援	・教育振興運動推進団体や子ども会育成会連合会によるリーダー、指導者研修会

⑥ 子どもの居場所設置運営事業の実施

小学生から高校生まで、学校や学年の枠を超えて幅広く交流できる安心で安全な居場所を開設します。

項目・区分	概要
子どもの居場所設置と運営	・ホワイトキャンパス 運営主体：水沢子どもの居場所実行委員会
	・パステルハウス 運営主体：水沢子どもの居場所実行委員会

⑦ 成人式<sup>\*</sup>の開催

若者達が集い、将来にわたって継続的に集団活動を行うきっかけとなる事業の展開を図ります。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により開催方法に工夫が求められています。

項目・区分	概要	事業名等
学習機会の提供	・新成人で構成する成人式実行委員会を立ち上げ、成人式の企画・運営を行う	・成人式実行委員会
	・新成人の門出を祝福し、成人としての自覚を促す	・成人式

※ 令和4年4月1日に施行される改正民法で、成年年齢が18歳に引き下げられます。奥州市において、令和4年度以降の成人式については対象年齢を20歳として開催することを決定しています。なお、式典の名称については検討中です。

(5) 生涯学習施設の適正な維持管理

施設の安全管理に努めるとともに、令和3年3月に市が定めた公共施設等総合管理計画・個別施設計画と財政計画の調整を図り、適切な施設の維持管理に努めます。

項目・区分	概要
生涯学習施設一覧	後藤伯記念公民館、奥州宇宙遊学館、奥州市文化会館、江刺生涯学習センター、江刺体育文化会館、前沢ふれあいセンター、胆沢文化創造センター、衣川セミナーハウス

## (6) 成果指標

指標名	現状値 (R02)	中間目標値 (R06)	目標値 (R08)	指標に関する説明等
社会教育講座受講者数対総人口比率	18.41%	53.0%	55.0%	R01現状値 (55.97%) を目指します

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で、一定程度の割合でインターネットによるオンライン講座等にシフトする可能性もありますが、当面、感染症対策を徹底して安全、安心な事業を展開する必要があります。

## 2 本に親しむ活動の推進

### (1) 子ども読書活動の推進

「奥州市子どもの読書活動推進計画」と連携して、子どもが自ら読書に親しみ、読書習慣が身につくよう、子どもの興味・関心を尊重しながら、子どもの自主的・自発的な読書活動を推進します。

項目・区分	概要	事業名等
学習機会の提供	・保健センター、図書館の共同により、4か月児健診時において、絵本の読み聞かせと絵本の提供を行います	・ブックスタート
	・親子で幼児期から本にふれる機会の提供	・えほんの森
	・市内全中学校において、読書ボランティアによる本の読み聞かせ、様々な本の紹介を行います	・中学生への本読み聞かせ ・ブックトーク
指導者の育成・活用 読書習慣の啓発	・図書活動を行うボランティア団体及びサークルの育成、支援とネットワークづくりの促進 ・読書ボランティアの育成及び活動機会の契機づくり ・中学生、高校生を対象とした読み聞かせボランティア育成	・読書ボランティア研修会 ・教育振興組織の事業
	・毎月4日（よむ日）は奥州市家庭読書の日「ねえ読んで」の普及	

## (2) 図書館利用を通じた課題解決支援

各種調査活動における相談業務の実施、図書に関する情報の提供、行政諸課題や利用者ニーズを反映した企画展の開催等により、個々の課題の解決を支援します。

項目・区分	概要	事業名等
課題解決支援機能の構築	・調査もの相談サービスの充実	
	・レファレンス機能の充実	
	・まちづくりや現代的課題に関するテーマ別企画展及び図書展示の実施	

## (3) 図書資料・視聴覚教材の整備充実

市民に身近な図書館を目指し、図書資料やサービスの効果的な配置と充実を図るとともに、岩手県南第一地域視聴覚教育協議会の事業を活用した視聴覚教材などの充実に努めます。

項目・区分	概要	事業名等
図書館機能の強化	・企業や店舗が社会貢献事業の一環として雑誌を寄附	・雑誌スポンサー
	・県内図書館所蔵図書の閲覧、貸出	
視聴覚教材の整備	・岩手県南第一地域視聴覚教育協議会所蔵教材整備 所蔵教材 16mm映画フィルム (514本) ビデオテープ本 (1,113本) DVD教材 (600本)	
視聴覚技術者の養成	・視聴覚教材の活用促進	・16mm映写機操作技術講習会

## (4) 図書館の適正な維持管理

図書館の機能を最大限に利用できるよう、施設・設備の安全管理に努めるとともに、令和3年3月に市が定めた公共施設等総合管理計画・個別施設計画と財政計画の調整を図り、適切な施設の維持管理に努めるとともに貸出業務等のサービス向上に努めます。

項目・区分	概要
図書館設備の維持管理	・水沢図書館 昭和63年、延床面積 2,543㎡ ・江刺図書館 平成16年、延床面積 1,140㎡ ・前沢図書館 昭和60年、延床面積 592㎡ ・胆沢図書館 平成3年、延床面積 510㎡
図書館サービスの向上	・関係職員の資質向上のための各種研修会等への派遣 ・インターネットによる予約サービスの開始及び円滑運用

## (5) 成果指標

指標名	現状値 (R02)	中間目標値 (R06)	目標値 (R08)	目標設定の考え方
図書貸出利用者総数対総人口比率	82.84%	85.0%	90.0%	R1 現状値を目指す
市民一人当たり図書等貸出冊数	5.0冊	5.1冊	5.1冊	現状維持

## 3 芸術文化の推進

### (1) 市民の芸術文化活動の推進

幼少期から、日本や奥州地域の芸術文化をはじめとする、国内外の優れた芸術文化の鑑賞や参画機会を提供して、子どもの情操を養い、芸術文化活動が活発に行われるような環境を醸成し、芸術文化の更なる発展に寄与する活動を推進します。

また、地域における伝統文化を市民に身近なものとして親しみ、次の世代に継承していけるよう、地域に残る伝統文化の保護や情報発信、活用を支援します。

さらに、芸術文化に関するボランティアを育成し、市民の自主性を持った芸術文化活動を支援し、その成果の発表や鑑賞が出来る積極的な活動を推奨します。

項目・区分	概要	事業名等
芸術文化活動の支援	・芸術文化協会活動の支援	・小中学校児童生徒文化大会出場奨励金
	・少年期からの文化活動への取り組み支援	
	・各種芸術文化団体主催事業に対する後援	
芸術文化鑑賞機会の提供	・文化活動の振興のため、市民へ芸術文化活動の成果発表の場の提供	・市民芸術文化祭
市民参加型舞台活動の推進	・市民手づくりによる舞台の活動支援	・奥州市民文士劇 ・奥州前沢劇場 ・奥州胆沢劇場 ・いさわジュニアミュージカルスクール ・奥州ジュニアオーケストラスクール ・Zホール児童合唱団

### (2) 文化会館の適正な維持管理

文化会館の機能を最大限に利用した活発な活動ができるよう、施設・設備の安全管理に努めるとともに、令和3年3月に市が定めた公共施設等総合管理計画・個別施設計画と財政計画の

調整を図り、適切な施設の維持管理に努めます。

項目・区分	概要
文化会館施設一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥州市文化会館 設置年 平成4年 構造面積 鉄筋コンクリート造3階建 9,711m<sup>2</sup></li> <li>・江刺体育文化会館 設置年 昭和63年（建築年：昭和44年） 構造面積 鉄筋コンクリート造2階建 1,998m<sup>2</sup></li> <li>・前沢ふれあいセンター 設置年 平成2年 構造面積 鉄筋コンクリート造3階建 2,879m<sup>2</sup></li> <li>・胆沢文化創センター 設置年 平成3年 構造面積 鉄筋コンクリート造3階建 6,976m<sup>2</sup></li> </ul>

### (3) 成果指標

指標名	現状値 (R2)	中間目標値 (R6)	目標値 (R8)	目標設定の考え方
文化会館利用者数対総人口比	95.5%	240.0%	240.0%	R1 現状値 (241.8%) を目指す